

アクションポート横浜 活動レポート

2018

2018.4～2019.3



2018年度の活動一覧 P1

2018年度の活動一覧

活動報告 - 新規活動 P2

10周年パーティ

NPOインターンシップラボ

活動報告 P3-4

NPOインターンシップ

横浜サンプラザプロジェクト

エコツアー

ギャラリー P5-6

みんなが主人公

卒業生が選ぶ「MY BEST APY」

2018年度の活動一覧



- YAPキックオフ
- サンタ実行委員会発足
- インターンシップの教科書発売



- JUNKO団体向けセミナー開催
- a-conとのプロジェクト発足
- NPOインターンシップラボ発足



- アクションポート横浜総会
- NPOインターンシップお見合い会



- 人むすびの場
- SNAPゼミ開催



- 10周年パーティ開催
- インターン生受け入れ開始
- <YAP>どろんこバレー参加



- 学生企画エコツアー開催
- 打ち水開催
- NPOインターンシップラボシンポジウム開催



- NPOインターンシップ短期報告会開催
- NPOインターンシップクラウドファンディング開始



- 大学祭に出店「NPOビレッジ」
- <ラボ>市民セクター全国会議、ランチセッション実施
- 釜利谷高校ライフキャリアセミナー実施



- サンタプロジェクト2018開催



- サンタ報告会実施
- NPOインターンシップラボ勉強会開催
- まち普請事業 2次コンテスト開催



- 藤沢のインターンシップ報告会に参加
- ツナカンハウス開催(毎月第2金曜日)



- NPOインターンシップ長期報告会開催
- 卒業する4年生を送る会を開催

10周年パーティ

8月に、アクションポートの設立10周年を記念して、10周年パーティを行いました。

高城新代表理事から、「まちにたくさんの主人公を！」が合言葉の”アクションポートのこれからの10年のビジョン”の共有が行われたり、アクションポートの好きなおところを語り合う場が設けられたりしました。

様々な形でアクションポートに日々関わってくださっている約100人の方々がお集まりくださり、アクションポートにはこんなにも応援してくれる仲間がいたんだ、と、改めて感じ、前進への力をもらえる会となりました。



えっ、アクションポート、こんなオシャレなところでパーティするの？ そんな第一印象を受けました。ただ、参加していく中、高城さんはじめみんなの話がスタートしていくと、みんなの思いやこれまでのことを聞いたり、雰囲気を感じると昔と変わらないアクションポート横浜がありました。外側はよりスタイリッシュに。中身は昔と変わらず誰もが主人公になれる場所に。安心と同時に僕も頑張らないと思えました。10周年、おめでとうございます。(参加者 井上佳祐)

NPOインターンシップラボ

NPOインターンシップを運営している団体、またこれから運営したい団体が集まり、”NPOインターンシップラボ”というプロジェクトを立ち上げました。トヨタ財団様の助成を支えに、9月には駒澤大学でシンポジウムを開催し、63名の方にお集まりいただきました。実践者・関心者の皆さんに集まっていたいただいたので、ぎゅっと詰まった濃い時間でした。

今後もNPOインターンシップラボは、地域と若者をつなぐインターンシップの連携や発展、活性化し合う場づくりをすることを目的に活動を行っていきます。



この取組みを応援させていただくようになって5年目になります。お見合い会にも参加させていただきましたし、毎年の成果報告会に何うことも楽しみにしています。最初如何にも自信無さげな表情をしていた学生さんが、成果報告会では堂々とした態度でインターン先や自分が担当した事業の紹介をされるのを聞いたが”この取組みはNPO人材の裾野を広げることに留まらない価値があるんだな”と心から思います。NPOインターンシップラボによって、全国に仲間を増やして行きましょう。(トヨタ財団 大野満)

NPOインターンシップ

今年は77人の学生が、短期は10日間、長期は6か月間の間NPOで活動して来ました。

「人生変わりました!」と言ってくれる子がいたり、その後も受け入れNPOから誘われたイベントに積極的に参加してくれる子がいたり、一人一人それぞれの学び・つながりを持ちかえて来てくれました。

現場に行くことで「NPOが地域と近いとはどういうことか」を本当の意味で知ることができるのがこのインターンシップの良いところ。このきっかけを、自身の将来と地域の発展に役立ててくれたら、と思います。



実際にインターンスタッフとして活動する事で、組織の裏側や問題点、お金の動き、自分の活動が支援に繋がっている事が目に見えてわかります。会ったことがない遠い彼らに思いを寄せ、彼らのために活動するのもいい経験だと思います。
(参加学生 近藤彩香)

インターンを通して、自団体や地元のことを伝えることや、改めて再認識することも多く、相互に意味のある活動であると感じました。それまでは数人でコアな部分を担ってきましたが、インターンにも手伝ってもらうことで、他のメンバーにも頼みやすくなりました。
(受入団体 大倉山おへそ)

横浜サンタプロジェクト

今年のサンタは10周年。今年は、みなとみらい線の方の協力を得てみなとみらい駅でイベントを開催することができました。

10年前は121人だったサンタが、今年は693人。実行委員会のメンバーも年を追うごとに仲間が増えました。

企業とかNPOとか学生とか立場を超えた仲間が、手作りで一つのイベントを作るのは本当に大変だけれど、だからこそかけがえのない一日になる。

改めて、たくさんの人に支えられていることを感じるイベントになりました。



今年度で10年目を迎えた横浜サンタプロジェクトでは、子どもたちを中心に地域の皆さんが所属の枠を超えて協力し、笑顔の輪を広げる活動をしてまいりました。多種多様な参加者によるこれまでの10年の歩みは、APYのミッションである中間支援の取り組みによる賜物です。今後、参加者同士でハーモニーを奏でられるようAPYがタクトを振ることで新たな10年の価値を高められると期待しています。
(実行委員長 阿部寿和)

エコツアー

今回のエコツアーでは、横浜になじみのある「海」をテーマにして、私たちの生活と環境問題について、「ゴミ」「海の生態系」を主に考えるツアーを行いました。

南本牧のごみの最終処分場の見学、海の公園の環境への取り組みを聞くワーク、最後にはBBQ、という盛り沢山の内容でした。

「どうやったら楽しく環境について考えてもらえるか」様々な工夫が練られていて、「一人一人の学生が環境に興味をもち行動を起こしてほしい」という学生メンバーの想いが詰まったツアーとなりました。



今年もエコツアーありがとうございました！このツアーは、なんと言っても学生の皆さんが環境問題に関して興味を持ったテーマで学生自身で企画実施することに価値があると思っています。企画学生には楽しく取り組んでもらいたいです！でも、毎年苦しんでますねー、その姿を見るのも私の楽しみです！苦しめ！そして最後は楽しんでください！

(資源循環公社 原田雄一)

普段自分たちでは見聞きできないお話や現場を見て、参加者の多くの方が身の回りの問題について関心・学びを深めていました。

私自身は初めて公に大人に協力をして頂いて企画をつくりました。失敗も多かったですが、とても貴重な経験になりました。エコツアーは、学生が興味を持ちやすく、複数の大学の学生が繋がることのできる素敵な企画だと思います。(企画メンバー 浅見友里)

その他の若者の活動



JUNKO上級生向けセミナー

5月、明治学院大学の国際系NPO、JUNKO Associationの依頼を受け、上級生向け出前講座を行いました。団体のマネジメントなどについて、JUNKOの皆さんと一緒に考えていきました。



a-con×APYプロジェクト

プロボノ団体、a-conの皆さんにお願いし、アクションポート横浜のこれからの10年のビジョン・ミッションのスライドを一緒に作成しました。とても素敵なスライドが完成し、10周年パーティでお披露目されました。



NPOビレッジ

11月、NPOインターンシップの受け入れ団体、「WE21ジャパン」「地球市民ACTかながわ」「横浜NGOネットワーク」の皆さんと一緒にフェリスの学園祭に出展。参加して下さった方々にNPOの活動を伝えられる場となりました。



YAP

YokohamaActionPlannerの活動が今年もありました。茨城のどろんこバレーに出場したり、大倉山のハロウィンイベントに参加したり、様々な団体のビジョン再確認や広報キーワードの抽出のお手伝いをしたりしました！

みんなが主人公



10年目を迎えるサンタPJを支えてくれた
実行委員会の仲間たち



インターンお見合い会を一緒に
運営してくれた
明治学院大学の大学生たち



NPOの若手育成について
一緒に考える、SNAPメンバー



今年初めての取り組みだった
インターンシップラボを一緒に
運営した仲間たち



企画初めての中頑張ってくれた
エコツアーのメンバーのみんな



アクションポート横浜で
活躍してくれた
インターン生のみんな



初めての高校でのキャリアセミナーを
一緒に運営してくれた大学生のみんな



これからの10年を一緒に支え
てくれる新任理事のみなさん



10周年パーティの運営をはじめ、
度々駆けつけてくれて一緒に活動の
運営をしてくれるOBOGのみなさん

今年も、このページでは載りきれないほどたくさんの仲間と一緒に活動を行ってきました。
支えたり、支えられたりしながら、たくさんの想いが形になっていきました。

アクションポート横浜の新キャッチコピーは”まちにたくさんの主人公を！”ですが、
振り返ってみると、アクションポートに関わる一人ひとりが
誰かに支えられて行動したり、誰かを支えたりすることができる”主人公”だと思っています。

これからもアクションポートは、たくさんの人たちのアクションを支え、
たくさんの人に支えられるNPOを目指します。

卒業生が選ぶ「MY BEST APY」

アクションポートで活動してきた、今年卒業の大学生たち。
それぞれの選ぶ「アクションポートの活動で一番印象に残っている場面」を聞いてみました！



いけももはこんな主人公！

高校生ボランティアセンターの活動から、インターン生、学生スタッフとして活躍しました。うふふ♡

いけももが一番印象に残っているのは…
インターンシップ報告書「ツナカン」の製作！

事前に自分が作ってきた関係性の中で、誰にどんな話を聞きたいのか、考えるのもとってもワクワクしました。普段、APYは様々な方と直接会って活動をする事が多いからこそ、人と関わる事自体が楽しみになっていたのだと思います。



やっさんはこんな主人公！

国際系NPO、JUNKO Associationのメンバーとして活動。飲み会にはいつも来てくれました。

やっさんが一番印象に残っているのは…
都内の大学の授業で登壇したとき！

私がどのような大学生活や活動を送ってきたかを、見ず知らずの、しかも同年代の方々に話す機会はそれまでに一度もなかったので、改めて私自身の大学生活を振り返り、俯瞰するととても貴重な経験となりました。



あさどんはこんな主人公！

石井造園でのインターン、エコツアーリーダー、そして今ではみんなのお兄さんとして学生を引っ張ってくれました。

あさどんが一番印象に残っているのは…
「エコツアー2015」が終わった瞬間！

大学1年の冬～春に、リーダーとして企画しました。初めてのことが多く大変でしたが、やり切った達成感と、快く協力してくれた方々(横浜という地域)のあたたかさが印象に残っています。イベント・地域・自身のポテンシャルを実感でき、今も活きる企画になりました。



ちゃっぴーはこんな主人公！

中華街パークキングのインターン生として、ハマショクの運営を頑張りました！

ちゃっぴーが一番印象に残っているのは…
初めて事務所に行ったとき！

暖かく迎え入れてくれ、ウェルカム精神でいっぱいでした。その後は色々なことに挑戦できてたり、コミュニティが広がっていくことにとっても感動しました！



りかういりーはこんな主人公！

音楽系NPOでインターン。チャライけど、以外といい女。

りかういりー一番印象に残っているのは…
夜2時まで話に付き合ってもらったこと！

インターン中、わたしはずっと悩んでいて、なにに悩んでるのかもわからない時期がありました。その時、長谷川代表が夜中の2時まで話に付き合ってくれました。代表の印象はチャライですが、こんなにも全力で私たちのことを考えてくれる人はいないと思います。



セレナーデはこんな主人公！

保育学科通いながら音楽系NPOでインターンしてました。

セレナーデが一番印象に残っているのは…
パンフレット重すぎる事件！

かおり、まさや、ねお、私で、ホッチポッチのパンフレット500部をイベントで配るために、関内の事務所から日本大通り駅まで手持ちで運んだこと。あまりにも重すぎて4人で大爆笑しながら運び、なんとか配りきりました。。多分インターン中で一番笑いました。



ひろみんはこんな主人公！

学生スタッフとしてアクションポートを支配してました。

ひろみんが一番印象に残っているのは…
戸塚まつりへの出店できなかつた事件！

OBOGや学生も集めて準備したのに先方のミスで当日出店できなくなっちゃったんです。でも、高城さんが代わりに怒ってくれたり、みんなが「お疲れ様」ってメッセージを書いてくれたりしたので、(ここはみんなが支えてくれる場所なんだな)と改めて感じられました。

Thank you for reading!



発行月 2019年3月
発行元 NPO法人アクションポート横浜
作成 2018年度学生スタッフ 長浜宏海
URL <http://actionport-yokohama.org>



アクションポート横浜

検索